

12公民館単位の地区別戦略の推進

明日が見える・地域が輝く邑南戦略（邑南町版まち・ひと・しごと創生総合戦略）の具体的な施策の中で、「共に支えあう共助の仕組みづくりと地域コミュニティの自立促進」を実現するためのひとつの施策として「12公民館単位の地区別戦略の推進」を挙げています。

地区別戦略とは、邑南町の人口減少に歯止めをかけるためには、地域との協働による取り組みが不可欠であると考え、12の公民館エリアから地域に根差した特色ある人口減少対策を提案していただいた事業を各地区毎に集約したものです。

本町では、具体的な事業化に向けて相談体制の整備、学習機会の提供、予算の確保等を行い、地域と一体となって各地区別戦略の実現（アクションプラン作成）に取り組んでいます。

■提案事業について

- ハード事業、ソフト事業とも可ですが、次の3つの条件をお願いしております。
- 地域の人口減少に歯止めをかけるための事業であること（交流人口の増加を図る事業を含む）
- 地域住民が主体となって実施する事業であること（公共施設等の整備を伴う場合はその運営を地域住民組織等が主体となって行うものであること）
- 各自治会及び自治会連合会等で了承されていること

日和公民館エリア

- 武道・スポーツの里
- ・小学校跡地及び施設の有効活用
 - ・国名勝千丈溪の整備活用
 - ・特別天然記念物オオサンショウウオの生息地保護
 - ・「食の学校」の加工品や「農の学校」の農作物を活用した都市交流事業

日貫公民館エリア

- スローライフプロジェクト「めくもりのある心豊かな田舎暮らし」
- ・旧豪農屋敷を代表とした名所旧跡の観光交流スポット活用事業
 - ひとのめくもりいっぱい子育て・定住プロジェクト
 - ・邑南町12地区の魅力発信
 - ・体験型空き家ハウスを活用した短期滞在体験、神楽体験ツアーの実施
 - ・空き家バンクの整備及び情報発信
- 日貫地区営農多角化・6次産業化事業
- ・農地を集積させ、多品種野菜を定期的に栽培・収穫を行う
 - ・収穫野菜の一部を加工し特産品を開発する

矢上公民館エリア

- やまんなの里づくり大作戦
- ・やまんな洞窟・原山登山道整備事業
 - ・地元産品を利用した加工品や「やまんな」を冠した料理を創造する「やまんなグルメ事業」
 - ・町中散策用パンフレットを作成しプラン提案する「町中ぶらり事業」
 - ・保育園児から高校生を対象とした体験学習を中心とした学習の場「やまんなの里地域学校」の創立

市木公民館エリア

- 市木宿再生事業
- ・「宿の学校」を創出しUIターン促進及び後継者育成、遊休地域資源の活用を図る
 - ・後継者不足で廃業した施設の改修・整備を行う
 - ・農林業やA級グルメ構想と連携した宿産業の確立
 - シルバーサロン（希望の園）事業
 - ・都市部から移住した介護福祉有資格者に事業参加を促す
 - ・デイサービス等の共同生活ができる施設の開設

中野公民館エリア

- 地域資源を活用した事業
- ・スタンプカードを活用した地域内消費の誘発
 - ・地域資源（タクシー会社、地元商店等）の活用
 - 熟年婚活大作戦！！
 - ・40～50代に特化した婚活事業への参画
 - ・婚活イベント・コミュニケーション講座の開催
- 中野地区資源を活用した地域内6次産業化事業
- ・地域資源を把握し、地元産品を使った加工品の生産・販売の仕組みづくり
 - ・加工品のレシピ集を作成し町内外に周知

井原公民館エリア

- 地域発掘発見事業
- ・「井原を知る勉強会」で地域の歴史文化を学ぶ
 - 「ノルディックウォーキングの町」邑南町づくり事業
 - ・ノルディックウォーキング教室の実施
 - 『空き家管理はおまかせ』支援事業
 - ・空き家管理&日常支援サービス

布施公民館エリア

- 元気はつらつ地域経営事業
- ・配食や送迎などのサービスを構築し、いつまでも住み慣れた我が家で暮らせる仕組みをつくる
 - ・住環境整備による定住促進
 - ・農林業の効率化を図る

高原公民館エリア

- 古材（古民具、農機具）バンクの設置
- ・古材等保管バンクの設置
 - ・古材の集約及び販売等の管理体制確立
 - 「山の学校」「元気な高原づくり」事業
 - ・山の再生と森林資源活用講座メニュー（環境整備含む）の確立
 - ・整備した景観を活かした事業の実施
- 田舎でスロー体験
- ・空き家と遊休農地を活かした都市住民との交流活動

口羽公民館エリア

- 地域資源を活かした多様な山村交流体験プログラム
- ・体験交流プログラムを立案・実践
 - ・川角集落での取組をモデル事業として展開し、地区全体に波及させていく
 - エネルギー自給地域を目指した地域内消費型木質バイオマスの研究
 - ・木質バイオマスの活用手法の研究
 - 多様な共同の終の住処の研究
 - ・「共同の終の住処」ニーズ調査と整備構想の策定

阿須那公民館エリア

- 阿須那まるごと交流事業
- ・キャンプ場運営体制の確立
 - ・農家民泊の開拓と連携
 - ・地区内施設等への食材提供体制の確立
 - ・体験交流プログラムを構築&情報発信
- 阿須那定住促進事業（出身者交流会の実施）
- ・地区全体規模の地区民運動会の復活
 - ・町外在住の地区出身者との交流会の実施
- 阿須那歴史調査事業
- ・地区の伝統行事・歴史を次世代へつなぐため、古老や識者から聴取し資料集を作成する
 - ・作成した資料は地域や学校などでふるさと教育に活用し、愛郷心を醸成することで地域の活性化や将来的なUIターンにつなげる

田所公民館エリア

- 大きな賑わいの場創出事業
- ・道の駅瑞穂、産直市みずほの施設設備の充実
- 田所まるごと大家族
- ・若年世代の実行委員会を組織。既存イベントの企画を充実、世代間・地域間交流の促進
 - ・地域活動の共有化や町外出身者に情報発信のためにHP開設
 - UIターン者総合支援事業
 - ・空き家のデータベース化、相談窓口の設置

出羽公民館エリア

- 出羽暮らしリクナビ事業
- ・多様な人材を募集し、出羽での暮らしをサポートする
- 地元産品による地域内6次産業化事業
- ・新商品の開発
 - ・小規模生産者及び加工者、販売者のネットワーク化
 - ・地元企業と連携した加工販売システムの構築
- 空き家改修資金のための邑南町信用保証事業
- ・自治会不動産事業実施のための公的融資事業
 - ・邑南町に信用保証協会の役割を担うよう要望する



阿須那地区 (実施団体: YUTAかプロジェクト)

阿須那地区概要

人口	709人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	2.3組 (1.6組)
自治会数	4自治会
集落数	40集落

前年度までの取り組み

■まるごと交流事業

- ・おしゃべり処よりんさい家オープン
- ・阿須那式炭窯の復興ワークショップ
- ・中学生と英語版パンフレット作成

■定住促進事業

- ・4自治会合同運動会を復活・継続開催
- ・広島菜の生産等による自立運営への目処

■歴史調査事業

- ・次の日祭りの映像資料撮影
- ・魅力あるオリジナル動画制作
- ・絵葉書を出身者に送り、運動会へ誘導

【令和元年度の取り組みの柱】

まるごと交流事業

●おしゃべり処よりんさい家

- ・「よりんさい家」は、今年度も継続して毎週金曜日に営業し、今後も継続可能な見通し。
- ・今年度の利用者数は延べで約1,000人程度。(3月コロナで中止)
- ・1回に平均25人程度が来所しており、地域内の認知度向上。

定住促進事業

●4自治会合同運動会の継続

- ・若者中心で企画・運営を行い継続開催。
- ・今後も継続開催が可能な見通し。

●広島菜の生産販売

- ・約10人がチームとして生産販売に取り組んだ。
- ・将来の財源の可能性のひとつとして期待される。

歴史調査事業

●阿須那式炭窯

- ・松江方面を中心に販路の見通し確保
- パンフレットの更新、伝統行事のアーカイブ化
- ・mikkeやうづい通信部の情報追加・更新
- ・雪田神楽団の演目「岩戸」(町指定文化財)を映像収録(練習風景~本番)

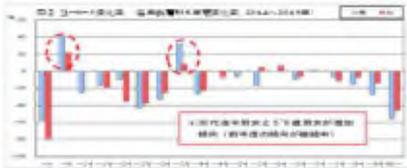


写真: 左から「よりんさい家でのサロン活動」・「運動会」・「地域での事例報告」

口羽地区 (実施団体: 口羽地区振興協議会)

口羽地区概要

人口	710人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.1組 (1.2組)
自治会数	4自治会
集落数	27集落

前年度の取り組み

■地域資源を活かした多様な山村交流プログラム展開事業

- ・広島市内の小学生を対象に、田舎体験モニターツアーを実施
- ・提供した食事は地産率90%

■食・エネルギー自給をめざした地域内経済循環の推進事業

- ・竹のチップ化試験実施→チップ生産体制検討
- ・鯉恋プロジェクト始動
- ・無人市コーナー設置、共同菜園開始

■終のすみか集住住宅整備推進事業

- ・候補地の見学実施
- ・入居候補者の方々と意見交換

【令和元年度の取り組みの柱】

地域資源を活かした多様な山村交流プログラム展開事業

●有縁人口拡大プロジェクト

- ・川角集落の花桃祭の事務局機能をにない、地域の交流プログラムの実施に寄与。
- ・神谷集落の棚田オーナー制度のコーディネート。
- ・棚田オーナー制度参加者に対して、山菜収穫体験など提供。

食・エネルギー自給をめざした地域内経済循環の推進事業

●鯉恋プロジェクト

- ・「鯉恋プロジェクト」の一環として、「こい酒場よぼしば」を月に1回実施。
- ・こい酒場で提供する食材は町内産にこだわり、地域内経済循環につなげている。

●無人市

- ・昨年度整備した無人市を活用。
- ・共同菜園で栽培している野菜を無人市で販売。
- ・無人市での1年間の売上は約10万円。

終のすみか集住住宅整備推進事業

●終のすみか

- ・終の住処の構想、計画は昨年度まで進めてきたため、今年度はさらなるブラッシュアップ
- ・加えて、DIYでお試し住宅制作に向けた準備

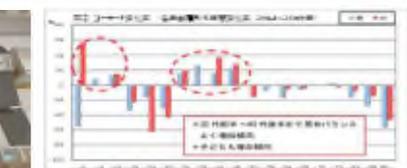


写真: 左から「鯉恋プロジェクト」・「よぼしば直売コーナー」・「終のすみか模型」

市木地区（実施団体：合同会社安夢未）

市木地区概要

人口	417人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	0.7組 (0.7組)
自治会数	1自治会
集落数	9集落

前年度の取り組み

■市木宿再生事業

- ・瑞穂ふくのやにて、定期的にイベント開催
⇒参加者総数100名超で交流拠点の役割発揮
- ・旧もりたや旅館を民泊施設として活用

■シルバーサロン（希望の園）事業

- ・高齢者の移動支援のためのカーシェアリング実施
- ・配食サービスもスタート
⇒利用者総数20名超、50～70食/日

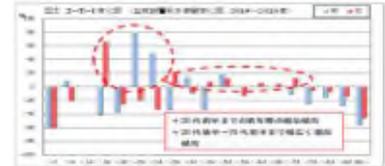
【令和元年度の取り組みの柱】

市木宿再生事業

- 旧もりたや旅館
・6月に施行された住宅宿泊事業法の影響もあり、今年度の旧もりたや旅館活用についてはストップ
- 瑞穂ふくのや
・ふくのやの営業継続

シルバーサロン（希望の園）事業

- カーシェアリング
・補助事業終了後の採算性が確保できず、事業としてはクローゼング
- 配食サービス
・配食サービスの需要が伸びており、配食で50～70食、矢上高校寮生の食事で70～80食と、1日100食を超える注文
・人手不足という課題が新たに浮かびあがってきた



写真：左から「ふくのやライブイベント」・「配食弁当」・「カーシェアリング」

田所地区（実施団体：田所をどがあずしょう会）

田所地区概要

人口	1,800人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	0.0組 (0.1組)
自治会数	5自治会
集落数	26集落

前年度の取り組み

■大きな賑わいの場創出事業

- ・先進的な道の駅について研修
- ・地区住民・中学生へのアンケート調査
- ・夢の道の駅の模型制作と展示・意見把握

■空き家のデータベース化事業
空き家管理サービス事業

- ・岡山県美作市梶並地区に研修
- ・合同会社たどころ 設立

■田所まるごと大家族事業

- ・クリスマス・イルミネーション設置
- ・ハンザケ祭り等で「オオナン・カレー」販売
- ・地区住民の顔写真でモザイクアート

【令和元年度の取り組みの柱】

大きな賑わいの場創出事業

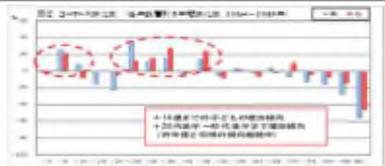
- レンタサイクル・インバウンド推進
・広島在住の外国人を対象としたインバウンド推進に向けた取り組み「ミニミニ外国」の実施
・レンタサイクル整備

空き家のデータベース化事業
空き家管理サービス事業

- 空き家所有者への意向調査
・5～6軒の所有者からは空き家管理を希望する声が開かれた
- 合同会社たどころ設立
・経済事業を展開するための組織として「合同会社たどころ」設立

田所まるごと大家族事業

- オオナン・カレーの商品化
・昨年度開発・試験販売した「おおなんカレー」が完成
・各種イベント時に販売するほか、町内他地区のカフェ等からも問い合わせ有り
- 2ロット（600パック×2）がすでに流通済
- クリスマス・イルミネーション、モザイクアート
・イルミネーションについて、周辺店舗等にも協力を得て拡充
- ・モザイクアートも継続して実施し、地域住民とのつながり意識を醸成している
- コ・ワーキングスペース、交流スペース
・田所公民館近くの空き店舗をコ・ワーキングスペースおよび交流スペースとして運用



写真：左から「クリスマスイルミ」・「インバウンド推進」・「おおなんカレー完成」

出羽地区（実施団体：出羽自治会）

出羽地区概要

人口	825人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	2.0組 (2.0組)
自治会数	1自治会
集落数	13集落

前年度の取り組み

■出羽暮らしリクナビ事業

- ・地域おこし店舗の閉店
雑貨店・交流処すまいるオープン
てらだのパンオープン
- ・2年で4名の移住者確保

■地元産品による地域内6次産業化事業

- ・てらだのパン等で地元資源を活用

■空き家改修資金のための邑南町信用保証事業

- ・空き家の活用と確保に向けたパンフレットを作成・配布
- ・レンタルオフィス事業開始

【令和元年度の取り組みの柱】

出羽暮らしリクナビ事業

●地域おこし店舗

- ・雑貨店ではイベント出店や月に数回のワークショップ等を開催
- ・交流処すまいるは、お年寄りをはじめとして地域住民の集う場となっている。
- ・すまいるを会場に交流イベントを計画していたが、コロナウィルスの影響で延期。
- ・パン屋は店主の事情により閉店となったことから、新規起業者を募集（「ゼロ円起業」として）。

●定住サポートセンター/レンタルオフィス

- ・レンタルオフィスに2社入居
- ・定住サポートセンター開設に向けた準備を進めている

地元産品による地域内6次産業化事業

●地域おこし店舗（てらだのパン）

- ・パン屋を中心に、既存店（飲食店等）との連携・コラボによる商品化とイベント時での販売促進活動

空き家改修資金のための邑南町信用保証事業

●定住サポートセンター/レンタルオフィス

- ・定住サポートセンターとして準備（予定していたスペースはレンタルオフィスへの入居者が増えたため別スペースで準備）
- ・レンタルオフィスとして貸出開始



写真：左から「0円起業募集」・「交流処すまいる」・「レンタルオフィス」

高原地区（実施団体：高原を楽しくする会）

高原地区概要

人口	851人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.2組 (1.5組)
自治会数	2自治会
集落数	21集落

前年度の取り組み

■「山の学校」&「元気な高原づくり」事業

- ・里山の恵み感謝祭 ⇒ 70人参加
- ・山林資源活用セミナー複数回開催

■田舎でスロー体験事業

- ・三滝周辺環境整備
- ・宿泊体験お試ツアー実施
- ・田舎体験プログラムづくり

■古材バンク事業

- ・美川木工視察研修
- ・ハデ木を使った木工ワークショップ

【令和元年度の取り組みの柱】

「山の学校」&「元気な高原づくり」事業

●疑似資金調達イベントの開催

- ・高原発の企画について資金調達の可能性を探るイベントを開催

●高原小学校裏山フィールド整備

- ・小学校児童のアイデアを元に裏山をフィールドとして整備

●摘み木ガーデン

- ・資金調達イベントでプレゼンした事業「タカハンドスケープ」を元に「摘み木ガーデン」として整備

田舎でスロー体験事業

●体験プログラムの実施

- ・昨年度実施した体験プログラムを内容変更して実施
- ・「鍛冶屋に学ぶ包丁研ぎ」は、町内外から参加があり、総勢10名ほどの参加者があった。

古材バンク事業

●木工体験教室

- ・いすづくりワークショップを実施して好評だったことを踏まえて、今年度も複数回木工体験教室を実施
- ・広報には、町の枠を越えて体験プログラムを集約・発信している「いわみん」を活用し、総計で約100名が参加。



写真：左から「山の学校」・「鍛冶屋に学ぶ包丁研ぎ」・「古材バンク木工教室」

布施地区（実施団体：銭宝地区別戦略実行委員会）

布施地区概要

人口	174人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	0.3組 (0.4組)
自治会数	1自治会
集落数	3集落

前年度の取り組み

■健康づくり・介護予防推進事業

- ・いきいきサロン開催
- ・田舎お披露目カフェ開催
- ・銭宝の暮らし応援隊設立

■農業経営効率化推進事業

- ・銭宝ピアガーデン開催
- ・銭宝の農業を考える会開催
- ・農業用ドローン勉強会

■UIターン推進事業

- ・島根大学ゼミ合宿受け入れ
- ・コンサート
- ・銭宝地区別つうしん発行
- ・若者有志グループ「theゼニーズ」結成

【令和元年度の取り組みの柱】

健康づくり・
介護予防推進
事業

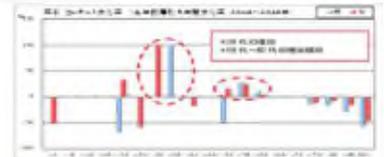
- 地域の支え合いの仕組み
 - ・サロン田屋の取り組み（計33回）⇒参加者数410人
 - ・いきいきサロンを5回開催し、参加者数188人
 - ・銭宝の暮らし応援隊が活動展開
 - ⇒草刈り：13回
 - ⇒配食：試験的に3回、108食提供（2回昼食、1回夕食）
 - ・4月から毎月第1金曜、第3金曜日の夕食を計画

農業経営
効率化
推進事業

- 農地マップ作成
 - ・研修会を2回実施し、地図太郎で水路等をマッピング等実施
- 農業を語る会
 - ・専業農家4名、兼業農家4名にインタビューを実施
 - ・別途農家9名にも聞き取りを実施
 - ・パネルにして新年互礼会で展示

UIターン
推進事業

- 地域内外の交流促進
 - ・出身者への便り発行、新聞発行各3回、FB、HP更新
 - ⇒今年度の活動や地域行事の写真を入れて送る形を新たに実施
 - ・ライブイベントを開催（11月・町内外から約40名参加）
 - ⇒イベント企画実施を通じて若宝会の育成
 - ・益田市道川地区に視察研修実施
 - ・公民館だよりの「地区別戦略」に関するコーナーで地域内に発信



写真：左から「暮らし応援隊の活動」・「巨大カフェ」・「農業インタビューパネル」

矢上地区（実施団体：矢上地区別戦略事業協議会）

矢上地区概要

人口	2,185人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.5組 (1.4組)
自治会数	5自治会
集落数	23集落

前年度の取り組み

■やまんば洞窟・原山登山道整備事業

- ・原山稜線コースの整備
- ・平成モミジ谷谷構想スタート

■やまんばグルメ・街中ぶらり事業

- ・島根ふるさとフェアのステージでPR
- ・やまんばグルメ参加店舗18店舗
 - ⇒認証パネル作成・贈呈

■やまんばの里地域学校事業

- ・親子ヤマメのつかる取り大会
- ・イルミネーション設置
- ・5自治会合同意見交換会

【令和元年度の取り組みの柱】

やまんば
洞窟・原山
登山道
整備事業

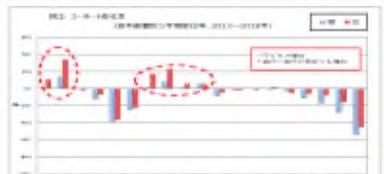
- 平成モミジ谷構想
 - ・原山のふもとの香木の森公園上流部にある谷をモミジでいっぱいにし、魅力を作っていく取り組みをスタート
 - ・小学生、高校生等とも協力しながら通算で200本以上の植樹
 - ・イロハモミジ、カエデを中心に四季折々で楽しめるよう樹種を選定

やまんば
グルメ・街中
ぶらり事業

- やまんばグルメスタンプラリーによる利用促進
 - ・約1年をかけてスタンプラリー実施。
 - ・3月には授与式実施（抽選会を企画していたがコロナの影響でイベントは中止）

やまんばの里
地域学校事業

- 親子教室
 - ・ミニ四駆大会、クリスマスケーキづくり教室など、親子で参加できる機会を創出
- 青年部・女性を取り込む体制づくり
 - ・5自治会青年部を中心とした次の体制づくりのための話し合い
 - ⇒青年部、女性の意見を反映できるように会議



写真：左から「モミジ谷構想」・「やまんばグルメ授与式」・「青年部・女性を取り込む体制構築」

中野地区 (実施団体：ナカノレナトゥス)

中野地区概要

人 口	1,508人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.3組 (1.4組)
自治会数	4自治会
集落数	22集落

前年度の取り組み

■地域資源を活用した事業

- ・移動販売車の確保
- ・見守り・移動販売車にこ丸くん運用開始
- ・ボランティアスタッフ等のサポート

■熟年婚活大作戦！！事業

- ・婚活イベント開催 (参加者10名)

■中野地区資源調査を活用した地域内6次産業化事業

- ・軽トラ市&フリマ・イベントの開催
⇒参加者 延100名

【令和元年度の取り組みの柱】

地域資源を活用した事業

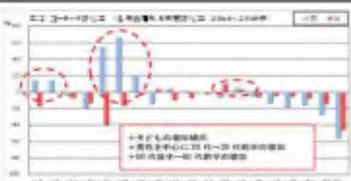
- 移動販売車「見守りスーパー にこ丸くん」
 - ・買い物に出かけにくい独居世帯を中心とした見守りと買い物支援のために移動販売車にこ丸くんを継続運用
 - ・現在は火曜日、金曜日の週2日間の運行。
 - ・社会福祉協議会の提案により、4月以後2人体制を構築できる見込み (自立支援を目的とした事業を活用し、社協職員+自立支援対象者の2名で運行できる見込み)

熟年婚活大作戦！！事業

今年度は展開なし

中野地区資源調査を活用した地域内6次産業化事業

- 軽トラ市&フリーマーケット
 - ・4月の加茂の春市に合わせて軽トラ市&フリマを開催。
 - ・次年度も開催を計画中。



井原地区 (実施団体：井原つながるプロジェクト)

井原地区概要

人 口	649人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.0組 (0.5組)
自治会数	4自治会
集落数	19集落

前年度の取り組み

■「空き家管理はおまかせ」支援事業

- ・ドローンによる航空写真・動画撮影

■地域発掘発見事業

- ・井原を知る勉強会の定期開催→冊子の発行
- ・そば道場の継続実施
- ・いばらMIRAIクラブ結成

■ノルディックウォーキングの町邑南町事業

- ・荻原健司氏によるノルディックウォーキング教室の開催

【令和元年度の取り組みの柱】

「空き家管理はおまかせ」支援事業

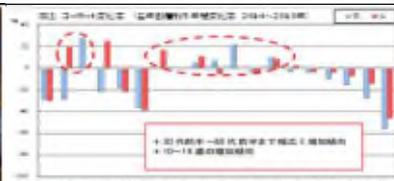
- ドローン撮影
 - ・ドローンによる航空写真・動画を撮影

地域発掘発見事業

- 井原を知る勉強会
 - ・1回に平均して30~40人が参加
 - ・「昔遊び」「地区民体育大会」「泥落とし」「彼岸市」の4つの内容について冊子を作成
- 井原そば活用
 - ・井原公民館を会場にそば道場を開催
 - ・直売所雲井の里での展開を視野に取り組みを展開
- いばらMIRAIクラブ
 - ・井原の若者グループを結成
 - ⇒夏に直売所で出店、年度末報告会での出店等活動を展開

ノルディックウォーキングの町邑南町事業

- ノルディックウォーキング推進
 - ・荻原健司氏を講師に招いてノルディックウォーキング教室を開催 (開催への協力)
 - ・ノルディックウォーキングを普及していくことで、健康な町づくりを目指して継続的に展開



日貫地区 (実施団体：日貫地区活性化協議会)

日貫地区概要

人口	446人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	1.2組 (1.3組)
自治会数	5自治会
集落数	17集落

前年度の取り組み

■ひとのぬくもりいっぱい子育て世代定住プロジェクト事業

- ・空き家調査結果から1件を抽出
⇒内部の片付け、物件紹介
⇒1世帯Uターン

■日貫地区営農多角化・6次産業化事業

- ・イノシシギョウザに加えて豚肉を使った「地産ギョウザ」を開発
- ・山林管理を目的として炭焼き事業

■スローライフプロジェクト事業

- ・(一社)弥禮設立
- ・古民家を活用した宿泊施設整備
- ・都市交流モデル事業で交流拠点を整備

【令和元年度の取り組みの柱】

ひとのぬくもり
いっぱい子育て
世代定住
プロジェクト
事業

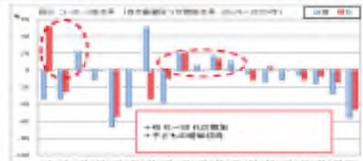
- 空き家の清掃
・空き家の調査、空き家の清掃(宅内・家回り)を実施
⇒1ターンの結びついた
・保育所、小学校と話し合い、ワークショップ
- 子育てフィールド整備
・金比羅さんを拠点に草刈り等を実施
・保育所前の河川の草刈り

日貫地区営農
多角化・6次
産業化事業

- 地産ギョウザ
・イノシシギョウザ等の生産本格化し、販売を開始
- 木炭生産
・原材料となる木の切り出し作業
・4月に炭焼きを実施し、販路開拓について検討中
- 東屋そば
・東屋そば収穫

スローライフ
プロジェクト
事業

- 安田邸の登録文化財
・文化財登録に向けた調査と準備(書類作成)
- パンフレット、座敷神楽(夜神楽)
・座敷神楽を3回開催し、毎回25人程度が参加
- 日貫一日プロジェクト安田邸・一楯に関する情報発信
・ウェブ等での発信(ウェブライターとのつながりづくり)
・雑誌掲載に向けた発信(クリア、高根建築住宅コンクール受賞)



写真：左から「金比羅さんフィールド整備」、「炭焼き」、「一楯でワイフ・イベント」

日和地区 (実施団体：日和地区総合振興協議会)

日和地区概要

人口	405人
定住増加必要組数 ()内は前年度値	0.5組 (0.4組)
自治会数	3自治会
集落数	10集落

前年度の取り組み

■武道・スポーツの里事業

- ・日和騒祭の実施
- ・広報・会場部
・写真動画撮影、情報発信
- ・イベント部
・会場設営、花火打ち上げ、事前準備
- ・出店部
・バザー出店者募集・調整

【令和元年度の取り組みの柱】

広報・
イベント部

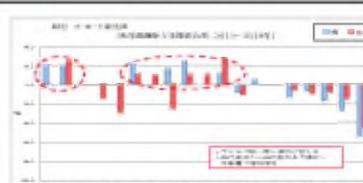
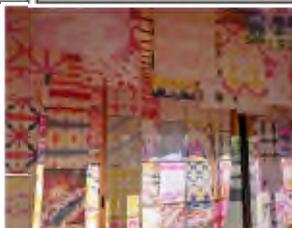
- 騒祭設営・花火打ち上げ
・ステージ発表構成、司会進行
・騒祭の会場設営
・花火打ち上げの実施
・来場者数は約500名

出店・会場部

- バザーによる賑わい創出
・地元の生産者、グループを中心としたこだわりの出店
・タピオカドリンクの販売による「稼ぐ」実践
・地域に根ざした出店による魅力向上

自走のための
取り組み

- 自走のための各種取り組み
・矢上高校文化祭にてタピオカドリンク出店
・ヒワココでのイベント開催(お漬物展、絞り染め展)
・ピアガーデンの開催
・日和高原ミルクジャム大判焼き：生涯学習課のイベントで出店



写真：左2：日和騒祭の様子。右：ヒワココでの絞り染め展